

総合調整会議の概略（2014. 8. 21）

- 日時：平成26年8月21日（木） 午前8時55分～午前9時25分
○場所：栗東市役所3階談話室
○出席者：市長、副市長、教育長、部長等

<会議内容>

1. 市長の指示事項

市長からの指示

- ・災害復旧事業について、例えば、安養寺山の道路を観光道路として復旧していく場合に、風致地区であることやガードレールを整備するのか、また、急傾斜地における復旧対策の場合に、県と市の役割分担や土地利用をどのように考えていくのか、地権者や地元自治会への説明や協力をお願いしなければならないことなど、復旧事業箇所周辺においてケアする必要があるため、次回開催の災害復旧対策本部会議までに、関係機関や関係部署と協議を行い、課題等を整理して報告すること。
- ・防災拠点施設のあり方検討について、市民部において現在の進捗状況を整理のうえ報告すること。また、関係部署等で議論を行い事業推進に向けた取り組みを行うこと。

2. 審議事項

【案件名】第2回総合計画審議会の提出資料について

→ 元気創造政策課長から説明

- ・今回審議してもらう資料は、8月27日に開催する第2回総合計画審議会に提出する資料である。

1. 第五次栗東市総合計画前期の成果指標結果一覧について（資料1）

- ・第1回総合計画審議会では、4ページ以降にある前期基本計画において設定をした、それぞれの「成果指標」の達成度を取りまとめたものを示しており、次の作業として、この「成果指標達成度の詳細分析」と、「基本事業を中心とした進捗状況等の分析」の二本立ての評価検証作業を「基本目標」ごとに進めていくと説明している。
- ・今回は、その「成果指標達成度の詳細分析」、そして「基本事業を中心とした進捗状況等の分析」を、基本目標1「安全・安心のまち」部分の評価結果としてまとめたものである。
- ・4ページ以降の内容は、まず、前回に示している基本目標1の施策ごとに設定をした36個の「成果指標」の達成度をまとめている。これに加えて、その成果指標を含んで構成をする「施

策」ごとの「実績等」と「課題」を各課から出されてきたもの、詳細は補足資料1に記載されているが、この内容をもとに事務局で取りまとめて記載をしている。

- ・次に、これら「施策」ごとの「実績等」や「課題」を集約したものが、3ページの「安全・安心のまち」の評価と課題である。これは、「施策」を構成するその一つ上の「基本政策」ごとに、文書化しているものであるが、前半は評価、後段は課題を中心に構成している。
- ・そして、最後に基本目標である「安全・安心のまち」の総括をしており、「市道の整備や防災拠点の耐震化など計画的な取り組みの効果が見られる一方、少子高齢社会の到来など、今後の社会経済情勢の変化を踏まえた制度改正への対応や全国的な新たな課題への対応、市民一人ひとりの意識向上を図る更なる取り組みなどが求められています。」としている。
- ・このような取りまとめ方を基本目標2以降も行い、最終的には前期基本計画の評価として整理したうえで、特に課題等に対する取り組みについては、後期基本計画に反映していく。

2. 第五次栗東市総合計画後期基本計画策定にかかるポイントについて（資料2）

- ・この資料は、基本目標1の「安全・安心のまち」に関して、先ほど説明をした前期基本計画評価における課題や、各課から提出された内容を取りまとめている補足資料2の「前期基本計画からの変更点、見直すべきポイント等について」の内容について、「施策」ごとにそのポイントを取りまとめたものである。
- ・特に、社会経済情勢等の変化への対応、国県の施策動向を中心とした新たな行政課題、各個別計画の方針等との整合という、三つの視点で整理をしている。
- ・第2回総合計画審議会ではこの資料を説明し、さらに盛り込むべき視点等について意見をもらい、その意見も反映したうえで、後期基本計画見直し案としてその次の総合計画審議会で示していく形で策定作業を進めていく。
- ・この二つの審議案件の資料については、基本的には各課から提出されたものをベースにして取りまとめているため説明は事務局で行うが、各委員からの質問や意見に対しては、その担当部長に回答をお願いしたい。
- ・資料の内容について、各部が関係する項目の確認をいただき、追記修正等がある場合は明日の午前中までに報告をお願いしたい。

3. 総合計画審議会の審議フロー（案）について（参考資料1）

- ・前回も示しているが、市民アンケート調査の実施作業を組み込んで、今後の進め方を再度示すものである。

4. 後期基本計画策定における市民アンケートの実施について（参考資料2）

- ・前回に会長から指示のあった市民アンケートについて、市としての考えを整理しているもので

ある。特に、基本的な考え方としては、基本事業レベルはアウトプット指標、施策レベルはアウトカム指標を設問として設定し、後期基本計画における今後の成果指標を設定するために、このアウトカム指標の現状値を把握するアンケートとする。また、この設定をすることで、前期基本計画の大きな課題であった市民にもわかりやすい進行管理ができる体制を整えたい。

- これは、後期基本計画の策定については、10年間の基本構想をベースとして、基本事業レベルの時点修正をするものであることと併せて、策定スケジュールを勘案しているものである。委員から「基本構想を含んでゼロベースから広く意見を聴取する」との意見もあったが、取りまとめまでの時間がないことや後期基本計画に反映する前提となっていないことから、今回は見送るものとする。この広く市民の意向を確認するアンケートについては、次期総合計画策定時に実施をしていく予定である。
- 今回実施する市民アンケートは、作業時間等を考慮すると、基本目標ごとの審議過程とは別に進めていかなければ取りまとめができないと考えており、別立ての審議項目として、次回の総合計画審議会にアウトカム指標とアンケート素案を示していく。

[政策推進部長]

- 総合計画審議会の資料は公開を前提としているものであり、各部において記載内容等の確認をお願いしたい。

区分：決定

3. 報告事項

【案件名】栗東市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について

→ 市民部長から説明

- 平成25年4月に新型インフルエンザ等対策特別措置法が施行され、各主体の責務や措置が法的に定められた。この法律に基づいて、国の行動計画が平成25年6月、滋賀県の行動計画が平成26年3月に改定された。本市の行動計画は平成21年10月に策定しているが、国や県の行動計画の改定に沿った内容に見直しを行うものである。この改定のスケジュールと見直すポイントを報告するものである。

[市長]

- 世界的に問題となっているエボラ出血熱などの感染症対策についても、この計画に盛り込まれることになるのか。

[市民部長]

- エボラ出血熱や重症急性呼吸器症候群（SARS）対策なども、盛り込んで策定していく。

区分：了解

4. 閉会

副市長からの挨拶

- ・これから会議等が多く開催されるため事務が輻輳することが懸念される。各部において、気を引き締めて対応すること。
- ・来月開会となる9月定例議会について、決算審査が行われることから、質問等に的確に答えられるよう、準備を万全にして対応すること。

以上